

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 気仙沼市立月立小学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒988-0864

宮城県気仙沼市塚沢65

E-mail tsukidate-sho@kesenuma.ed.jp

Website _____

幼児児童生徒数 男子 13 名 女子 17 名 合計 30 名

幼児・児童・生徒の年齢 7 歳～ 12 歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「ふるさとに誇りをもち夢と希望に満ちた心豊かでたくましい児童の育成」を学校目標とし、ESDの目標を「ふるさとのよさを知ることにより、ふるさとの環境を大切に守り、人とのつながりや関わりを尊重できる子どもを育成する」と設定している。ESDの実践を通して育てたい資質・能力として「体験を通し、ふるさとのよさや恵まれた自然環境や伝統文化を守るために自分にできることなど、物事を主体的に考える態度を育てる」「ふるさとの自然や伝統に親しむ態度を育てる」「未来を見つめ生きる力、応用力、コミュニケーション能力を育てる」の3点を設定している。

その具体として、①伝統文化に係わる活動、②自然環境に係わる活動、③人とのかかわりに関する活動を行った。

① 伝統文化に係わる活動

今年で191年目を迎える「早稲谷鹿踊」の継承活動を、毎週水曜日の業前に全校で行っている。業前活動では、縦割り班で練習を行い、上学年が下学年に教える活動を取り入れている。また、その他に4・5・6年生は早稲谷鹿踊親子教室（夜）として年間9回早稲谷鹿踊保存会の方から指導を受けている。

12月の参観日には、縦割り班毎に練習の成果を発表した。さらに、今年度は東京で開催された目黒サンマ祭りに参加し、5・6年生が演舞を披露した。

① 自然環境に係わる活動

1・2年生は、サツマイモの栽培活動を行った。収穫したサツマイモは、学校近くのパーキングで開催される「軽トラ市」に出品し、児童は販売体験も行った。

3・4年生は、本校を卒業した職員が講師となり、蚕の育て方や養蚕の歴史について学び、実際に蚕を育てる活動を行った。3学期には、育てた蚕の繭を使って、地域の方から繭細工を教わった。現在月立地区には養蚕農家はないが、地域の歴史や産業を知ることができるいい機会になった。

5・6年生は、地域の方の指導の下、大豆の栽培を行い収穫する活動を行った。大豆を育てる中で、大豆に関する様々な知識（利用法、歴史、栄養素等）を学んだ。3学期には、地域の方から大豆を使った料理を教わった。

② 人とのかわりに関する活動

学区に住む77歳以上の方に、敬老帳を配付する活動を行っており、今年で49年目を迎えた。敬老帳は児童の作文や絵、習字作品を冊子にしたもので、児童の手で作成し、配付した。



① 伝統芸能の継承活動



① 目黒サンマ祭りでの披露



③ 軽トラ市での販売体験



④ 敬老帳の配付

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

本校では、生活科や理科、総合的な学習の時間や各種行事の中に前述の活動を位置付けている。活動後には関係学年や全職員で反省や改善事項について話し合い、次年度の計画に生かすようにしている。また、各活動における地域の講師の方々との打合せを密に行い、ねらいが達成できるように努めている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

早稲谷鹿踊の継承活動は、縦割り班ごとに練習を行うことで、上学年が下学年に教える形態をとっている。子どもたち同士で教え合うことで、異動により職員が入れ替わっても継続して活動を行うことができるようになっていく。農園活動では、農園主の方がPTAを退会されてからは、学校が主体となって活動を行うことができるように計画を整備している。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

活動が多岐に渡っていることと、児童数・職員数の減少により、活動内容の見直しを図っている。その際には、職員からの意見だけでなく、主な活動について保護者に実施する学校評価の中で、各活動について意見をいただいている。保護者も児童数減少の実態を理解しており、次年度は、活動の実施学年や実施方法について見直しをする予定である。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

本校では学習の成果の発表の場として、毎年「生活・総合発表会」を行っている。各活動の講師の方や保護者を招いて、子どもたちが1年間活動したことや調べたことを、各学年ごとに発表している。次年度は、海とのつながりを重視した活動にも取り組む予定なので、海の近くの学校と交流活動を行い、互いの学校の活動について発表する予定である。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

伝統芸能の早稲谷鹿踊は、鹿踊保存会の方々と協働して継承活動を行っている。今年度は、「気仙沼市子ども芸術祭」に5・6年の児童が参加し、演舞を披露した。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

9月には、5・6年児童が、東京都で行われた目黒サンマ祭りに出演し、演舞を披露した。鹿踊保存会の方々に帯同していただき、祭り前日には目黒ユネスコ協会の方々と交流活動を行った。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

月立地区は自然環境や伝統文化などに恵まれ、子どもたちはふるさとの良さを実感することができる。その中でも早稲谷鹿踊保存会など地域の方々と関わり学ぶことを通して、児童は郷土を愛し大切に思う気持ちを強くし、地域の一員として自分にできることは何か、地域と自分との関わりについて考えることができるようになっていく。

(3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

伝統文化

- ・ 早稲谷鹿踊（年間）
- ・ 塚沢神楽（10月）

自然環境

- ・ 農園活動（年間）
- ・ 鮎の稚魚放流（5月）
- ・ 全校遠足（6月）
- ・ ぶどう狩り体験（8月）
- ・ 蚕の飼育・観察（8月）
- ・ 地層調査（10月）
- ・ 海洋体験（11月）
- ・ そば打ち（12月）
- ・ 豆腐作り（1月）
- ・ 蚕細工（1月）
- ・ 炭作り（2月）

人とのかかわり

- ・ 敬老帳作成（9月）
- ・ 委員会による福祉施設の訪問
- ・ あいさつ運動（年間）
- ・ 縦割り班活動（年間）
- ・ 月立子どもフェスティバル（7月）
- ・ 軽トラ市（11月）